

県立博物館のあり方に関するアンケート調査の結果について

三重県生活部文化振興室

「県立博物館のあり方に関するアンケート調査」の実施結果につきまして、下記のとおり報告いたします。

アンケートの結果については、現在進めております県立博物館のあり方に関する検討のための参考として、活用させていただきます。

ご回答いただきましたモニターの皆さまに改めてお礼申し上げます。

1 アンケート実施期間

平成 19 年 7 月 20 日（金）～平成 19 年 8 月 6 日（月）

2 意見募集の結果

対象者	1,046名
回答数	642名
回答率	61%

3 アンケートの結果

Q 1 「博物館の利用状況」

ほとんどいかない方が 67%と全体の 7 割近くを占め、利用されるとお答えの方をみても、そのほとんどが、年間 1 回程度の 18%、年間数回程度の 13%に止まり、「博物館」そのものが、あまり利用されていないことがわかりました。

Q 2 三重県立博物館の利用状況

Q 1 の結果を反映して、これまでに県立博物館をご利用いただいたことがない方が 75%にのぼり、来館されている場合も、1 回ある方が 12%、2～3 回ある方が 10%となり、県立博物館の利用が、人数的にも、回数的にも、限定されたものであることがわかりました。

ここから Q 6 までは、県立博物館をこれまでに 1 回以上、ご利用いただいたことのある方 158 名にお答えいただいたデータとなります。

Q 3 県立博物館の利用目的

3 つまでの複数回答可という条件設定に対して、313 件の選択をいただきました。回答数の多かった順にみますと、博物館の展示全般の見学のためが 24%、博物館で開催された企画展示を観るためが 21%、子どもの学習・引率のためが 11%、余暇の憩

いや娯楽のためが9%、観光としてが7%などとなっており、博物館の展示全般や企画展示の観覧および、子どもの学習・引率のためが、主な利用目的であることがわかりました。

Q 4 県立博物館に関する満足度

満足6%および、やや満足39%を合わせると45%で、やや不満40%および不満13%を合わせた53%よりも下まわり、県立博物館に来館されたことのある方では、不満感を持たれた場合の方が多いたことがわかりました。

Q 5 県立博物館を利用してよかった点

2つまでの複数回答可という条件設定に対して、230件の選択をいただきました。博物館の展示内容32%、資料に触れられる展示方法13%、展示資料の数および職員の対応がいずれも10%、博物館の施設8%、博物館教室やフィールドワークの内容7%の順となりました。ただし、その前提として、Q4で、不満感を持たれた方が多かったことから、あえて答えればとの立場で、ご回答いただいた方も少なくなかったであろう点について、しっかりと踏まえる必要があると考えています。

Q 6 県立博物館を利用して改善すべきと感じた点

2つまでの複数回答可という条件設定に対して、239件の選択をいただきました。展示資料の数25%、博物館の施設23%は、老朽化した博物館の施設や手狭な展示スペースなどの物理的な要因が主となっているものですが、博物館の展示内容22%、博物館教室やフィールドワークの内容8%、資料に触れられる展示方法7%などは、博物館活動の取り組み方そのものに関わる問題であり、県立博物館のあり方を検討するうえで、どのような内容としていくべきか検討を深めていきたいと思えます。

この設問以降は、全員の方を対象にしたものとなります。

Q 7 これからの博物館の役割

3つまでの複数回答可という条件設定に対して、1748件の選択をいただきました。いずれか一つ目立って回答が集中したものはなく、回答が分散していますが、多いものを順に列記しますと、だれもが楽しみ、学べる場(生涯学習)の提供18%、三重県の自然・歴史・文化の展示15%、子どもの体験の場14%、大切な自然・文化遺産(文化財)の保護、保存13%、学校教育との連携10%となります。

これらから、誰にでも楽しめる学びの場として、子どもの体験や学校教育との連携の場となるとともに、三重県の自然・歴史・文化資産を保護・保存し展示紹介する役割をバランスよく果たすことが大切であると考えています。

Q 8 これからの博物館の活動

2つまでの複数回答可という条件設定に対して、1142件の選択をいただきました。回答数は、展示方法の充実30%、展示内容や収蔵資料などに関する情報提供の充実

22%、講座や講演会・フィールドワーク・イベントの充実 20%、展示資料の充実 18%の順となっています。

Q7とも関わりますが、今後の博物館活動の検討にあたっては、展示の充実および展示や収蔵資料についての情報公開の充実、講座・講演会・フィールドワークなどの学習機会の充実などに留意していきたいと思います。

Q9 これからの博物館の施設・サービス内容

この設問では、2つまでの複数回答可という条件設定に対して、1172件の選択をいただきました。

回答の多かったものとしては、くつろげる雰囲気や、ゆったり落ち着ける施設の快適さ 27%、バリアフリー化され、子どもやお年寄りにやさしい施設の造り 17%、広い駐車場の完備 15%、食事や休憩ができるレストランや喫茶店の充実 14%などがあげられます。

施設・サービス面では、食事や休憩も含めて、ゆっくりとくつろげる場、子どもや高齢者でも利用しやすい場とするとともに、駐車スペースの確保といった利便性の向上も重要であることがわかりました。

Q10 三重県の歴史・文化・自然について

3つまでの複数回答可という条件設定に対して、1723件の選択をいただきました。

選択項目は15項目以上ありましたが、中でも、歴史全般の流れ 17%、美術・工芸などの文化財 11%、環境問題 10%、地形・地質（地震や活断層）8%などが、回答の多かったものです。

環境問題や地震や活断層の情報も含む地形・地質は、自然と人との関係に関するものですが、現在の生活とも密着したテーマといえます。また、17%と一番回答の多かった歴史全般の流れは、三重県の歴史的な流れを総合的に知りたいというニーズが比較的多いことを反映したものと思われる。

これからの博物館活動の検討にあたっても、このようなニーズにできるだけ確に対応したテーマの設定を心がけてまいりたいと思います。

Q11 身近な地域で開催される移動展示や講演会について

県立博物館では、平成18年度から、館蔵資料を県内各地の県民のみなさまにご覧いただけるよう、移動展示事業を実施してまいりました。18年度には、桑名市・亀山市・志摩市・尾鷲市・名張市の5会場で、19年度も、いなべ市・津市・南伊勢町・紀宝町・伊賀市の5会場で開催しております。また、県内各地で実施するフィールドワーク事業も実施してまいりました。

本設問は、このような取り組みを、今後展開していくうえでの参考とさせていただきたく設けさせていただいたものです。

結果といたしましては、ぜひ行ってみたい 14%と、行ってみたい 48%を合わせて62%のみなさまから、行ってみたいという方向の回答をいただきました。しかし、その一方で、あまり行ってみたいとは思わない 17%、行ってみたいとは思わない 4%の

合計 21%のみなさまからは、その反対のご意見をいただいています。

全体的な方向性としては、今後もこのような取り組みの充実に努めていきたいと思いますが、後者のご意見をいただいた方も少なくないことを踏まえて、多くの県民のみなさまに、ご理解をいただけるような活動のあり方について、さらに検討を進めてまいりたいと考えています。

Q12 これからの博物館へのご意見

この設問は、記述式でご意見をいただいたものです。Q10までの設問に対していただいた、その他のご意見とも重なるものが多かったため、それらも合わせて、みなさまからいただいた主なご意見をまとめさせていただきました。

《博物館活動全般について》

- ・ 今の博物館は敷居が高すぎる。もっと地域に開かれた博物館活動が必要。
- ・ あまり難しくなく誰でも興味を持てる展示や、堅苦しくなく気軽に行けるところになってほしい。ゆったりとくつろげるような場所になってほしい。
- ・ もっと県民が興味を持つことができるような企画や展示が必要ではないか。
- ・ メディアが注目するような目玉的な企画も必要ではないか。
- ・ 遠くからでも行きたくなるような、行く価値のあるような活動や催しが必要。
- ・ 県内各地を巡る移動展示・移動博物館のような企画が必要だ。
- ・ 博物館で行われている調査・研究活動の内容を公表してほしい。
- ・ 県内の博物館や他の施設、地域と連携・タイアップした活動が必要ではないか。
- ・ 子どものための企画ばかりでなく、大人のための講演会や勉強会の場をたくさんつくってほしい。
- ・ 遊ぶところよりも学ぶところという考えを大切にしてほしい。
- ・ 戦争、食、科学史なども取り上げてほしい。

《三重県の自然や歴史・文化、環境問題への取り組み》

- ・ 博物館が中心となって、積極的な情報収集を行い、三重県の自然や歴史・文化も資産の保護・保存を進めてほしい。そのための情報などの収集に、インターネットをうまく利用してはどうか。
- ・ 環境問題への活動に取り組んでほしい。

《子ども向けの取り組みについて》

- ・ 子どもたちが、三重県の自然や歴史・文化に接する機会が得られるよう博物館活動を充実させてほしい。
- ・ 古いものを保存していく大切さ・意味などを子どもに伝えてほしい。
- ・ 子どもが行きたくなるような体験学習などの企画や広報イベントが必要。
- ・ 見るより触れることができるような、体験学習的なイベントがあれば家族連れも見に行くのではないか。
- ・ 学校教育との積極的な連携をはかるべき。小学校の時に社会見学などに行く仕組

みがあると、また行こうという気になるのではないか。

《広報・情報発信について》

- ・ P R が足りない。
- ・ 博物館の存在をもっとアピールすべき。
- ・ 県立博物館の存在そのものを知らなかった。
- ・ インターネットをもっと活用すべき。
- ・ ホームページをもっと充実させてほしい。

《「博物館」という名称について》

- ・ 博物館の売りが何かを、県民にも分かりやすく、キャッチフレーズなどを使って印象づけてみてはどうか。
- ・ 「博物館」という名称では身近さが感じられない。名称を検討してみてはどうか。

《博物館の施設・運営などについて》

- ・ 施設の老朽化や建物の小ささは、県立の施設とは思えない。
- ・ 民間と共同で運営するなどコストの削減をはかるべき。
- ・ 指定管理者制度などにより、民間の発想を導入して、県民サービスの向上を目指してほしい。
- ・ まず博物館としてのコンセプトをしっかりとつことが必要ではないか。
- ・ 施設が古くなったから、他県にあって自県にはないから、建て替えるという発想では悲しい。県内の文化遺産の現状をよく調べて、展示するものについて検討してから、博物館の必要性を県民に説明してほしい。
- ・ 三重県に本当に博物館が必要かどうか考えてほしい。近隣の他県にあるもので事足りるのではないか。今の時代、広域で施設整備は考えるべきではないか。
- ・ 県単位として博物館は必要か。東海地区に一つあればよいのではないか。
- ・ 三重県の博物館にあまり期待していないので、税金をかけないでほしい。

以上、みなさまからいただきました貴重なご意見を糧として、今後の検討を進めてまいりたいと思います。

今回のアンケート調査を通して、県立博物館の存在が、いかに県民のみなさまに認知されていないかについて、P R の不足も含めて、痛感したところです。

まずは、現在の県立博物館の活動を知っていただくこと、そして、今後の県立博物館のあり方に関する検討の中でも、県民のみなさまのご意見を十分にお聞かせいただきながら進めてまいりたいと思います。

なにとぞよろしく願いいたします。

【お知らせ】

県立博物館展示室の閉鎖と県立図書館での企画展の開催について

この度、みなさまからご意見をいただきました県立博物館につきまして、施設の老朽化が著しいことからお客様の安全を確保するため、平成 19 年 10 月 10 日(水)をも

ちまして、展示室を閉鎖することとなりました。

今後の博物館企画展は、県立図書館と連携して、県立図書館2階文学コーナーにおいて開催いたします。そのほか、博物館教室などの行事、各種お問い合わせの対応などの業務につきましては、開催場所など一部変更がございますが、いままでどおり継続しておこないます。

県民のみなさまには、たいへんご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

「三重の文化振興方針」(仮称)の意見交換会のお知らせについて

現在、知事の諮問を受け、三重県文化審議会で審議を行っております「三重の文化振興方針(仮称)」につきまして、「三重の文化振興方針(仮称)」骨子案および「博物館のあり方に関する基本的な考え方」について、県民のみなさまから広くご意見をお伺いし、今後の検討に反映していくことを目的に、意見交換会を開催いたします。

お時間が許せば、こちらにもご参加いただけましたら幸いです。